

製剤種差検討会

「製剤設計における種差の問題検討会」

第3回事例報告会

日時：2017年6月30日（金）10:00～17:50
会場：東京大学薬学部講義室

2016年4月に発足した製剤種差検討会での事例報告会は今回で3回目を迎えました。41団体から74名が参加し、5例の事例報告と総合討論がなされました。前回同様、今回も討論時間が足りなくなるほど熱い議論が交わされ、盛況のうちに会を終えることができました。



▲ 代表世話人
原島秀吉先生
(北海道大学大学院)



▲ 澤村良子先生
(第一三共)



▲ 小柳 悟先生
(九州大学大学院)

事例報告① 澤村良子先生

- ・ロキソニンゲル創製における薬物動態学的アプローチ

事例報告② 小柳 悟先生

- ・薬物動態の概日変動と種差

事例報告③ 藤井義峰先生

- ・低膜透過性化合物DX-9065aの経口吸収改善と種差

事例報告④ 原島秀吉先生

- ・EPR効果はヒトでも有効か？ : DoxilとDoxorubicinのメタ解析から

事例報告⑤ 兵頭健治先生

- ・担癌モデルマウスの落とし穴



▲ 藤井義峰先生
(第一三共ノバーレ)

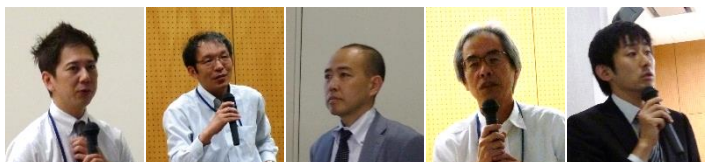


▲ 兵頭健治先生
(エーザイ)

多くの参加者から積極的に意見や質問が生まれ、活発な議論が交わされました。



情報交換会には50名が参加し、交流の輪を広げました。



第4回事例報告会は、11月2日（木）にキャンパスプラザ京都で開催予定です。

レイアウト：
近藤 啓(アステラス製薬)
菊池 寛(エーザイ)